

2019年度（第31回）

関西グランドシニアゴルフ選手権 決勝競技

期 日 2019年10月3日～4日
場 所 琵琶湖カントリー倶楽部

一般社団法人 関西ゴルフ連盟

ローカルルール

- アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- 修理地は青杭を立て、白線によってその縁を定める。
- イエローペナルティーエリアは黄杭または黄線、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。線と杭が併用されている場合は線がその縁を定める。
- ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。
- 電磁誘導カート用の2本のルールは、その2本のルールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 樹木に密着させてある巻物等は不可分なものとする。
- プレーヤーの球が送電線に当たったことが分かっているか、事実上確実な場合、そのストロークはカウントしない。プレーヤーは罰なしに、直前のストロークを行った場所から球をプレーしなければならない。このローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則 14.7a に基づく一般の罰。
- 特定の用具の使用制限
 - 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型 G - 1』を適用する。
 - 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G - 2』を適用する。
 - 『適合球リスト・ローカルルールひな型 G - 3』を適用する。
- ラウンド中のゴルフカートの使用を認める。カートは競技者同士が運転、操作するものとし、カートを運転させる目的で特定の者を雇ってはならない。
- 規則 10.3a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

ローカルルールの違反の罰；

 - そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらった各ホールに対して一般の罰を受ける。
 - 違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
- 規則 5.5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
 - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
- 規則 5.2b は次のように修正される：プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。
- 危険な状況のためのプレーの中断は、1回の長いサイレンによって伝えられる。その他すべての中断は、短いサイレンの繰り返しによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則 5.7b 参照。）
- 『ゴルフ規則の詳説・ローカルルールひな型 E - 12』を適用する。
- 『ゴルフ規則の詳説・ローカルルールひな型 G - 9』を適用する。

注 意 事 項

- 栗東コースを OUT、三上コースを IN とする。
- 練習は指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱を限度とする。なお、打球練習場での使用クラブは飛距離 200 ヤード以下のものに限る。
- ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
- 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。

競技委員長 北島 哲夫